

水辺に生息する鳥 Water Bird

1 体長 ※括弧内は翼を広げた時

2 見た目の特徴



黒鳥 Black Swan

- 1 110 ~ 140cm
- 2 青年期はほぼ全体が灰色で、成長すると黒。

西オーストラリア州の州鳥で、紋章や旗に描かれている。パース市の紋章にも描かれており、スワン川の名前の由来にもなった。まだ黒鳥が発見される以前には、無駄な努力を表す諺として、「黒い白鳥を探すようなものだ」という語句があった。



コシグロペリカン
Australian Pelican

- 1 160 ~ 180cm (230 ~ 250cm)
- 2 大きな体と大きな嘴。

24時間以上飛び続けることができ、場合によっては上空3,000m程度の高さまで上昇するなど飛行能力に優れる。



ムギワラトキ
Straw-necked Ibis

- 1 60 ~ 70cm
- 2 顔と嘴が黒く、羽は黒光りしている。

20世紀前半に乱獲や開発で激減し、2003年には日本原産は絶滅してしまった「トキ」と同じトキ科に属する。



オーストラリアヘビウ
Australian Darter

- 1 85 ~ 90cm (120cm)
- 2 首が長く、体はオスが黒でメスが白。

泳ぐ際に水面に出た長い首が蛇のように見えることから、ヘビドリ (snakebird) とも呼ばれている。



セイケイ
Purple Swamphen

- 1 45 ~ 50cm
- 2 体は濃い青で、嘴はオレンジ。

1981年に生態が確認された日本の天然記念物で、沖縄北部に生息するヤンバルクイナと同じクイナ科に属する。